

神奈川県派遣交換留学生 近況報告書（初回）

所属	外国語学部	国際文化交流学科	学科 専攻
派遣先大学 (国)	ジャウマー世大学 (スペイン)		
所属プログラム・ 学部・研究科	Tourism		
報告書提出日	2019年9月20日		
留学予定期間	2019年9月～2020年1月		

1. 渡航について

1.1. 出発前の準備

出願料・宿舍デポジット： 0 (€) /合計

航空券代： 170,000 (¥) /合計

ビザ申請関連費： 1,000 (¥) /合計

その他（スーツケース等）： 50,000 (¥) /合計

ビザ取得の際に残高証明書は必要でしたか？ はい いいえ

「はい」の場合、いくらの残高証明書を作成しましたか？ 150万 (¥) /合計

--

1.2. 渡航について

<p>成田空港からイベリア航空の直通便でマドリードまで行きました。</p> <p>到着後、夜だった為、空港からはタクシーでホテルまで向かいました。</p> <p>” Renfe ” という鉄道を使い、Casetellon de la Plana（片道56€程）へ到着後、ホストマザーが駅に迎えに来てくださり、そのまま滞在する家へ。</p>

2. 到着後の手続きについて

2.1. 寮・ホームステイ等への入居手続き

<p>現地での手続きはありませんでした。</p> <p>予め提示されていたホームステイ代を払うのみでした。</p>

2.2. 滞在許可・外国人登録の手続き

<p>大使館への在留届はオンラインで提出しました。</p>

2.3. オリエンテーション・学生登録・プレイスメントテスト等の学内手続き

・学生登録

まず、履修したい科目をオンライン上で登録し、その後チューターの教授と面談。担当教授の許可がないとその後の手続きが進まないの、いつ会えるかをメールし予定を決めました。科目登録等、全ての手続きがオンライン上で進むので、何かと大変でした。しかし、ORI（国際センターのようなもの）に行き、分からない事を聞くと丁寧に答えてくださります。人によりますが、全ての手続きが終わるまでに到着してから2週間弱かかりました。

3. 目標について

3.1. 留学の目的、達成目標

文化の違いを肌で感じる事、100人の人と出会う（繋がりを持つ）、自分の考えで自分を動かす事

3.2. これまでの学習・研修目標および達成度について

ホストマザーを含め、もっと話せたらもっと楽しくなる、と思う事が多いです。スペイン語と英語を使う日々で、どっち曖昧になるのではないかと考えたこともあります、そんなことを言っているよりもとにかく話す事が大事だと思います。

観光の授業では、留学生が多いのでスペインの観光事情だけではなく、他の国はどうかと聞きたいと思います。

3.3. 今月の学習・研修目標

スペイン語の時制を習得する。

4. 学修について

4.1. 授業時間割

現在の学期	1 学期
月	Valencian art and Tourist resources, Spanish
火	Oral expression in English, Valencian art and Tourist resources, Spanish
水	Spanish
木	Oral expression in English, Spanish
金	Spanish
土	
日	

4.2. 授業について

・Valencian art

Practical と Theory の授業があります。前者はディスカッションなど実践的なカリキュラムです。バレンシア州の南部に焦点をあてた観光モデルコースを作成しました。また、キリスト教の偶像崇拝の有無についても議論しています。後者は講義形式のもので、バレンシアでみられるゴシック建築について他

のゴシック建築との違いを学び、実際に訪れる予定です。

基礎となる知識がないと授業に出席しても何も得る事が出来ません。正直ものすごく難しいですが、予習をしていくのと、クラスメートに分からない要素を聞くことで理解が進みます。

・ Oral expression in English

スピーキング、リスニングを主に行います。隣に座っている人と指定されたフレーズを用いて話す事が多いです。先生がよく投げかけるのでそれに積極的に答える事でその意見がクラスにシェアされ、自分たち次第で面白くなっていくと思います。また宿題をオンライン上で指示されます。難易度としては高くありませんが、予習は必要です。

・ Spanish

これは追加で授業料を払うものです。(116€-Intensive course) 初日のテストで A1.1-B1 のクラス分けがされます。私は A2 のクラスでした。授業は 10 月の初旬まで毎日 15:30-19:00 です。授業はスペイン語で進められ、分からない時は英語で説明してくれますがなるべくスペイン語を使うようにと言われます。毎日 3 時間の授業があるので、復習が追い付かないこともあります。しかしホームステイをしているので、その日習ったことをすぐに実践できるのでとてもよいです。

4.3. 予習・復習・自習について

・ Valencian art

それぞれ 2 時間程度

・ Oral

それぞれ 1 時間半程度

・ Spanish

それぞれ 1 時間半程度

5. 生活について

5.1. 衣食住について

住居	ホームステイ (その他:)
----	----------------

自分の部屋とバスルームがあります。洗濯物は溜まったらまとめて回す、という感じです。

みんなで食事をする事を大切にしているので、家で夕食をする際はみんなが揃うまで待つことが多いです。ホストマザーとその友達と一緒に住んでいます。大体 21 時以降で、終わるのが 23 時とかもあります。その為朝食は簡易的でコーヒーにビスケットです。また、35 度を超える日でも家にはクーラーがないので、着るもので調整します。でも湿気がないので、過ごしやすいです。

5.2. 課外活動について

休日は ORI が開催する trip にいたり、ホストマザーの友人たちと昼頃 (14 時以降) からみんなで料理をしたりしています。

放課後に大学の体育館で現地の学生とバトミントンをすることもあります。

5.3. 現在までの感想

住んでいる街はとてもいい所です。ホストマザーがとても気さくで、拙いスペイン語にも耳を傾けてくれたり、スペイン語を教えてくださいます。毎日頭がパンクしそうですが、この 1 か月が 1 週間で過ぎたく

らいにととも充実しています。

以上

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（11月）

所属	外国語学部	国際文化交流	学科 専攻
派遣先大学 (国)	ジャウマー世大学 (スペイン)		
所属プログラム・ 学部・研究科	Tourism		
報告書提出日	2019年11月25日		

1. 目標について

1.1. 留学の目的、達成目標

たくさんの人と関わり、それぞれの国での働き方を知る事。良い悪いではなく、何がどう違うのか何のためなのかを比較して、常にバージョンアップできるようにする。

1.2. 先月の学習・研修目標および達成度について

留学最初は英語とスペイン語をどの比重で学んでいこうか、自分の頭の中も混雑していました。欲を言えば2言語の習得を目指したいですが、なかなかうまくいかない為、今月はスペイン語に焦点をあてました。スペイン語の Intensive コースが終了し、今は Semi-Intensive コースを受講しています。レベルが上がり、復習が欠かせないです。その中で追いつかない日もあります。分からないものをそのままにしないことはもちろんですが、留学している環境を利用して他の留学生と一緒に勉強する等、工夫していきたいです。

1.3. 今月の学習・研修目標

観光の授業で実践 (Practica) があるので、そこでグループメンバーと協力し、魅力的なプレゼンテーションを作る。またスペイン語のテストもあるため、前回よりも結果を出す。(75%⇒85%以上)

2. 学修について

2.1. 授業時間割

現在の学期	前学期（前回報告書からの変更分）
月	Semi-Intensive 9-12:30
火	
水	Semi-Intensive 9-12:30
木	
金	Semi-Intensive 9-12:30
土	
日	

2.2. 授業について

・ Arte de Valenciano

前回よりも実践的な内容が増えた。参考文献がすべてスペイン語で配布されるため(授業時代は英語)翻訳からする必要がある。Theory の授業ではキリスト教に関わる話の為、基礎知識を持っている事が求められる。理解できない事も多くあるがその都度、教授や他の学生に質問して理解に努めている。

・ Oral Expression in English

毎回課題があるため、それを必ずやっていく。クラスでは教授がテキスト以外にも多く質問を投げかけ、それに対してクラス全体で意見を出す。

2.3. 予習・復習・自習について

・ Arte de Valenciano

事前に資料が配布されているのでそれを読む。ただ、シラバス通りに進まないこともあるのでその時は復習に力を入れる

・ Oral Expression in English

課題が毎回あるためそれを授業前に行う。

・ Spanish

予習は行わないが、復習が必須。次の授業では前回習ったことを皆で復習する時間はほぼない。

2.4. 語学力について

よく「リスニング力は伸びた」と聞くが、それはその通りだと思う。しかし、リスニング力だけでなく「スピーキング」を重視して、自分の殻に引きこもらないようにする。言いたい事あっても単語が分からないからやめる、のではなく時には翻訳アプリを使って会話をすることに努めている。また、スペイン語に関しては自分と同じくらいのレベルの人と喋るのがいいと思っている。喋れる人に教えてもらうことももちろん良いが、自分で解決することで習得できると思う。

3. 生活について

3.1. 衣食住について

住居	ホームステイ (その他:)
----	----------------

ホストマザーとはうまくコミュニケーションを取れていると思う。普段は一緒に夕食を作ったり、テレビドラマを見たりする。野菜の量が少なく、少し困っているので相談する必要があると思っている。

3.2. 課外活動について

バドミントンをしている団体があるのでそこにたまに参加している。

休日はホストファミリーと過ごしたり、他の留学生と出かける事が多い。

3.3. 現在までの感想

11月に入り、気候の変化と疲れで体調を崩す事が多くあった。休息も適度に必要だが、5か月間しかないで体調管理をしっかりとし、なるべく外で活動したいと思う。また、将来の事を話す機会が多くあり、自分のビジョンを再構築する機会にもなると考えている。

以上

神奈川大学派遣交換留学修了報告書

所 属	外国語学部	学 科	国際文化交流学科	4 年次
派遣先大学 (国)	ジャウマー世大学 (スペイン)			
所属プログラム・ 学部・研究科	経済学部	履修言語	英語	
留学期間	2019年9月～2020年1月			
報告書提出日	2020年2月14日			

1. 学修について

1.1. 学期区分

学期	授業期間	試験期間	履修登録するまでの過程
Fall semester	9月11日 ～1月21日 (15週)	1月7日 ～1月21日	英語留学であった為、英語で開講されている授業の中から自分が興味あるものを履修した。各個人に教授のメンターがつき、教授と面談するとその学部への所属が認められる。その後、何を履修したかを確認してもらい、変更があるようなら10月1日までにインターネット上で変更を各自することになっていた。履修登録ができるまで、様々な登録が必要で現地の国際センターに通ったりした。

1.2. 履修科目・内容

学期	履修科目名	合計時間	履修内容・授業での取り組み
		(内訳)	
Fall semester	Oral expression in English	48時間	火曜と木曜に授業があった。毎回課題が出され、その答え合わせをクラスで行うものだった。このテキストが学期末のポートフォリオの元となった。また、リスニングも授業の初めに行った。基本的な授業内容としては、様々なトピックに対して、隣に座っている人と意見を交わすものだった。何度か、現地学生からスペインについての文化や慣習をプレゼンしてもらった。試験は二回に分かれていて、提
		2 (時間/回) ×2 (回/週) × 12 (週)	

			示されたトピックに対して 10 分間話すスピーキングテストと、ライティングがあった。ライティングの方は日々出される課題をこなせていけば落ち着いて解ける問題だった。
Fall semester	Valencian art	48 時間	月曜日が演習で、火曜日が講義だった。授業の運営は全て英語で行われたが、配布資料はほぼ全てスペイン語だった。クラス内は留学生が 9 割だった為、バレンシアの芸術に関する知識に乏しいこともあった。毎週のようにプレゼンテーションがあり、それはすべてグループワークだった。たまに教授の講演会へ行ったり、実際に教会へ行って、そこでプレゼンテーションをする機会もあった。試験期間に試験はなく、授業で学んだことを 25 ページのポートフォリオにして提出することと日々の参加態度が評価された。
		2 (時間/回) × 2 (回/週) × 12 (週)	
Fall semester	Intensive Spanish	60 時間	スペイン語の授業で毎日開講。最初にクラス分けテストを受ける。わたしは A 2 のクラスだった。このクラスで近未来まで学んだ。毎日あったことに加え、会話がメインだったので他の留学生と楽しく習得することができた。
		3 (時間/回) × 5 (回/週) × 4 (週)	
Fall semester	Semi intensive Spanish	72 時間	スペイン語の授業の続き。Intensive のテストの結果、B1.1 のクラスになった。文法がより発展し、過去形や命令形などどんどん新しいことが増えていって授業についていくのが大変だった。予習の必要はないが、復讐の時間は絶対に確保することを求められた。テストはスピーキング、リスニング、ライティング。また、このコースでは 3 回ほどスペイン語でプレゼンテーションをした。ペアワークも複数回行った。
		3 (時間/回) × 3 (回/週) × 8 (週)	

1.3. 学修する上で心がけていたこと、予習復習の仕方について

英語の授業では、とにかく会話することを心がけた。Oral expression の方は課題が毎回あったので、それを怠ると授業に出る意味がなくなってしまう。また、付属のテキストも配られていたのでそこでディオムなどを自発的に勉強することが大事だと思った。

Valencian art の授業は、基礎知識がないことが露わになる場面が多くあり、授業内で完了することはなかった。授業後は分からなかったことを調べ、次の授業でそこにつまづくことがないように心がけた。

1.4. 語学力について

「英語」 現地の大学で受講したものはすべて英語で開講されているものだったので、必然的に英語は使った。また、**Oral expression** の授業では言い回しや意見の述べ方、リスニング等、インプットだけでなくアウトプットをメインとしていた為、多少は向上したと思う。また、同じ留学生でもスペイン語を話す人と英語を話す人に分かれていた為、英語をメインで話す人と過ごすことで英語に対する緊張感は軽減した。

「スペイン語」 ステイ先がオールスパニッシュであったため、想像していたよりもだいぶ喋れるようになったと思う。もともとほとんど初心者から始まった分、吸収することがあふれていたが、家での会話、スペイン語クラスでできた友達、カフェやレストランなど、積極的に質問することと真似してみることで伸びたと思う。また、スペインのドラマもよく見てそこから学ぶこともあった。

2. 留学の成果を振り返って

2.1. 学修の成果

「Valencian art」 この授業ではキリスト教の話から建築まで、私の基礎知識のない分野が詰まっていた。しかしバレンシアの観光分野について学びたいと思い履修したため、何とかやり切った授業である。調べることが多く、留学生活の苦勞の大部分を占めているが、履修したおかげでヨーロッパの建築物を見るのが楽しくなったし、バレンシアが芸術面でどう栄えてきたかを知ることができた。

2.2. 学修面での反省点ならびに留学志望者へ学修面のアドバイス

もともと英語留学であったが、英語力が伸びたとは実際感じない。帰国後のバイトで、外国人（英語を喋る）の接客をしたときに、今まで抱いていた緊張感はなくなった、またフランクに会話することができるようになったくらいである。つまり、英語に対する壁は薄れた。もし英語を学びたいのならやはりそれをメインとしている国への留学をおすすめする。

スペインの大学ではプレゼンテーションやグループワークがとても多かった。また、わたしは準備期間をたっぷり設けたいタイプだが、海外の人はあまり準備には手を入れず、本番になったらドンッとやる人が多い。グループワークをする際にそういう面でズレたりもしたが、きちんと会話を取り続けることでズレや不満を解消できる。

2.3. 留学生活で得られたもの

以前は、決まったことをカチッとやる方がいいと考えていたが、スペインへ留学してみて、想定外のことや自分の考えとは違うものを穏やかに受け入れられるようになった。スペインの人は本当に **No pasa nada.**-心配いらないよ。と **Tranquila.**-落ち着いて。をよく使う。そのおかげで心に余裕が持てたし、間違っただけでも責めるというより次、つぎ！という感じで明るかった。留学生の輪では文化が混ざり合う為、その考えはちょっと・・・とってしまうことでも、**No pasa nada.**（この場合はまあ、大丈夫でしょ！がいい訳だと思っている）と考えれば自然と受け止めることができる。神大で異文化コミュニケーションについて多くの授業を履修し、理解していると思っていたが、実際に経験することでただ頭で解っているだけで心では受け入れていなかった事にも気づけた。また、スペインで生活していると自分が日本人であるということに直面する機会もあった。どちらが良い・悪いのではなく、純粋に“違い”を楽しむことができた。

2.4. 留学生活での反省点ならびに留学志望者へ生活面のアドバイス

スペインの食生活はまるっきり違う。ホームステイをする際はそのことをあらかじめ念頭に入れておく必要があると思う。夕食は9時以降、朝はコーヒー、など信じられないことが続いたが、実際3ヶ月もいれば普通になる。野菜を食べない家庭もあるので、ビタミン剤は持って行くといいと思う。

派遣交換留学中の生活等に関する調査

国際センター

記入年月日：2020年2月14日

所 属	外国語学部	国際文化交流学科	4 年次
派遣先大学	ジャウマー世大学		5 ヶ月間

I. 留学先での住居について

1	住居形態は 何でしたか？	<input type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ()
2	住居形態の詳細を教えてください。	三部屋あり、そのうちの一部屋を借りた
3	入居時手続き	現地の国際センターとやり取りした
4	費用 (月額)	480 (ユーロ) (食費 月の食費は? /月)
5	支払方法	月初めに現金手渡し
6	住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 洗面所 <input type="checkbox"/> トイレ(共同) <input checked="" type="checkbox"/> トイレ(個別) <input type="checkbox"/> シャワー(共同) <input checked="" type="checkbox"/> シャワー(個別) <input type="checkbox"/> 浴槽 <input type="checkbox"/> 冷暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> ジム <input checked="" type="checkbox"/> 洗濯機 <input checked="" type="checkbox"/> 乾燥機 <input type="checkbox"/> その他 ()
7	住居選択方法	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航前に申込 <input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者・新聞を通じて <input type="checkbox"/> その他 ()
8	周囲環境	スーパーやチャイニーズショップ、カフェなど多く集まっていた。セントロまで歩いて5分くらいのところであった。
9	アクセス	大学まではトラムやバスで約25分、自転車で15分であった。
10	留学中の住居に関して アドバイス	文化に触れたいなら絶対にホームステイを勧める

II. 通信環境について

1	日本キャリアの携帯電話	持参した
2	現地キャリアの携帯電話	現地でSIMカードを購入
3	現地携帯電話の取得手続きの方法	空港でSIMを購入し、それ以降は街のアンテナショップで更新した。
4	自宅のインターネット接続環境	有線 (大学または寮へのLAN接続)
5	大学内インターネット接続環境	有線 (大学または寮へのLAN接続)

III. 留学費用について

諸経費 (1ヶ月の平均)		
1	宿舍費	480 (ユーロ) /月
2	食費	75 (ユーロ) /月
3	交通費	30 (ユーロ) /月
4	通信費	15 (ユーロ) /月
5	娯楽費	75 (ユーロ) /月
6	図書費	0 (ユーロ) /合計
7	学用品 (教科書など)	15 (ユーロ) /合計

8	被服費	100 (ユーロ) /合計
9	医療費	1.9 (ユーロ) /合計
10	雑費・その他	300 (ユーロ) /合計
上記以外にかかった大きな金額の内訳 (留学準備期間含む)		
11	出願料・宿舎デポジット	0 (通貨入力) /合計
12	ビザ申請関連費	0 (通貨入力) /合計
13	航空券代 (休暇時旅行費用は除く)	170,000 (円) /往復
14	その他	30,000 (円) /合計
15	留学全日程に要した総額 (概算)	800,000 (円) /合計
お金の持って行き方		
16	<input checked="" type="checkbox"/> 現金 (渡航時 : 20,000 円) <input type="checkbox"/> 国際キャッシュカード (銀行名 : SONY) <input type="checkbox"/> 海外送金 <input type="checkbox"/> その他 ()	
17	現地で銀行口座開設	してない
18	お金に関するアドバイス	海外 ATM 対応のキャッシュカードの作成は必須。

IV. 保険・医療について

1	海外旅行 (留学) 保険の種類	C2 (5 か月分で約 80,000 円)
2	留学中に病気・けが等をし、通院・薬の処方を受けましたか?	はい
3	海外旅行 (留学) 保険の適用を受けましたか?	受けなかった
4	受けなかった理由はなんですか?	大学内で診察してもらったため、無料だった。

V. 持ち物について

1	日本から持っていったもの パソコン、変圧器、服類、洗濯ネット、文房具、化粧品
2	現地で購入したもの ヘアアイロン、服類、化粧品
3	(自分は持っていかなかったが) 日本から持っていったら便利だと思ったもの だしの素

VI. 留学先で困ったこと

食生活が違いすぎた為、慣れるまでは大変だった。また、スペイン人は人と会うことに重点を置いているため、土日はホストマザーの友達とよく飲んだりしていた。ときには勇気をもって断ることも大切。(自分の時間を確保するため)

VII. その他、後続の学生へのアドバイス

留学は、半年であっても自分の既成概念を壊されます。踏み入れたことのない文化に触れることで、驚くことは多いですが、同時に自分に何かが入ってくる感覚を味わいました。不安なことはたくさんありましたが、行ってよかったです。就活や部活など留学のタイミングをどうしようかと悩む人も多いと思いますが、なんとかなります。そして周りに合わせる必要はないです。自分の意志を強く持って留学を決めてください。現地で経験したことは、キレイなものだけでなくつらく苦しいこともあります。すべてが財産となります。頑張ってください。